

鈴木直道知事が石狩湾新港の管理者に就任

利用しやすい港づくりを積極的に進めます



本年4月に管理者に就任した鈴木直道北海道知事

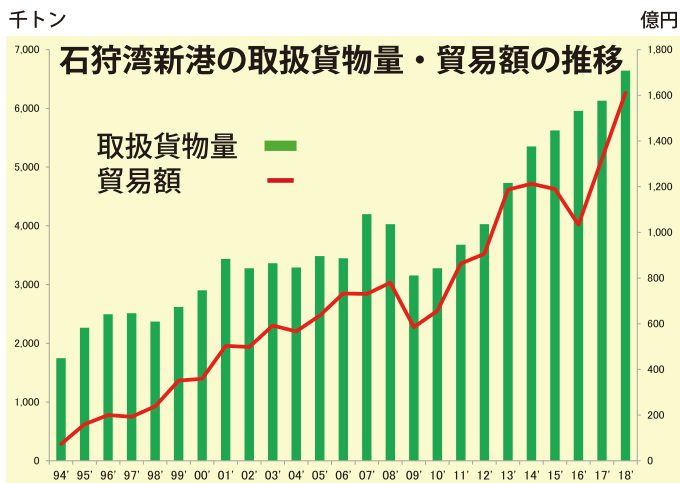
～就任のご挨拶～

石狩湾新港は、日本海に臨む石狩湾沿岸のほぼ中央部に位置し、北海道経済の中心地である札幌圏の海の玄関です。

昭和57年に第1船が入港して以来、これまで東アジアとの間で定期コンテナ航路を開設するなど、本道の「日本海側国際物流拠点」として機能を充実させてきたほか、近年では、LNGの輸入や再生可能エネルギーの活用など「エネルギー基地」として拠点化を進め、取扱貨物の堅調な推移とともに着実な発展を続けております。

また、本港を核として整備された石狩湾新港地域には、機械・金属・食品などの製造業、倉庫・運送などの流通業など700社を超える多種多様な分野の企業が集積しているほか、北海道最大の冷凍冷蔵倉庫群があり、本道経済と道民生活を支える生産と流通の拠点となっております。

石狩湾新港と新港地域が、これからも道央圏はもとより本道経済のさらなる発展に寄与していくことができるよう、より利用しやすい港づくりを積極的に進めてまいります。



1994年に国際貿易港として開港以来、着実に取扱貨物量が増加



物流・エネルギー供給の拠点として発展する石狩湾新港

石狩湾新港では、昨年、取扱貨物量、コンテナ取扱個数ともに過去最高を記録しました。道内の産業を支える物流拠点として、その果たす役割は大きなものとなっています。

また、北海道初のLNG火力発電所の運転が開始されたほか、大規模な洋上風力発電施設の建設が進められるなど、札幌圏のみならず全道のエネルギー供給拠点としての機能も高まっています。

さらに、新港地域内の「精米工場」と「くん蒸倉庫」が中国向けに日本産精米を輸出できる施設として指定を受け、本港から輸出が始まるなど新たな動きもあります。

こうした動きを的確にとらえ、地域の産業と道民の生活を支える港づくりを進めますので、皆様のご協力をお願いします。

就任のご挨拶

別所 博幸

石狩湾新港管理組合
専任副管理者



昭和59年北海道に入庁、総合政策部交通政策局物流港湾室参事、北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧港湾事務所長、釧路総合振興局副局長などを経て、令和元年6月より現職

石狩湾新港説明会 in 東京 2019

2月21日に石狩湾新港ポートセールス会、外貿貨物利用促進協議会、石狩湾新港振興会、石狩湾新港管理組合の4者共催による「石狩湾新港説明会」を開催しました。

「農水産品輸出促進セミナー」と「情報交換会」の2部で構成した説明会には、首都圏の船社、荷主、商社、運輸関連企業など約380名のご出席をいただきました。

●道産品の輸出を支援



輸出支援策を紹介する鳥取氏

●一層の利用を呼びかける

情報交換会は、外貿貨物利用促進協議会の武藤会長（丸水札幌中央水産株式会社代表取締役社長）の「札幌圏の物流拠点としての機能が浸透している。新たな航路の開拓などに努めるので、一層の利用をお願いしたい。」との呼びかけで始まりまし



会場内では多くの出席者と本港を活用したメリットなどについて意見交換をさせていただき、最後に、振興会の山田会長（石狩湾新港倉庫事業協同組合副理事長）が「今後も札幌圏経済の牽引役として発展するよう、PRに努める。」と抱負を述べ、盛況のうちに終了しました。



外貿貨物利用促進協議会の武藤会長(左)と振興会の山田会長(右)

令和2年（2020年）の説明会は2月20日（木）に東京プリンスホテル（東京都港区）で開催する予定です。詳しくは管理組合企画振興グループ（電話0133・64・6661）までお問い合わせください。

Topics

新会長に田岡氏を選任 【石狩湾新港振興会】

6月28日に開催された「石狩湾新港振興会総会」において、田岡氏（石狩商工会議所顧問）が新会長に選任されました。

田岡氏は、昭和43年に石狩町（当時）役場に奉職。以後、石狩湾新港管理組合の職員として、また、町助役時代には副管理者として長年にわたり本港の運営に携わってこられました。さらに、平成11年から本年6月



振興会新会長の田岡氏

札幌で講演会を開催

【外貿貨物利用促進協議会】

外貿貨物利用促進協議会では、会員への情報提供を目的に毎年2回講演会を開催しています。

昨年12月には、北海道総合商事株式会社事業戦略部長の村上淳氏を講師に招き「地方商社の役割とロシア・アジアでの取組について」、本年7月には、農林水産省北海道農政事務



ロシアへの道産品輸出事業を紹介する村上氏



政府の農林水産物・食品の輸出促進政策を説明する澤井氏

所生産経営産業部事業支援課長の澤井弘行氏を講師に招き「農林水産物・食品の輸出促進について」と題してそれぞれ講演をいただきました。出席された方々は、最新の食品に関する輸出情勢や海外での道産品のニーズなどについて、関心を持って聴講されていました。